



子ども達の未来のために
 新型コロナウイルスの感染者が再び急増。追い打ちをかけるように、雨、雨・・・豪雨災害が続き、泥にまみれた被災地に胸が痛む。そんな状況でも、園内には子ども達の明るい歌声が響いている。雨上がりの青空のようだ。心を打つ。

今年は短い夏になりそうだ。それでも、身近な自然の中で大いに遊んでもらいたい。

あつと言う間の半年は、コロナ禍と天災、新型コロナウイルスも異常気象も、世界的な環境破壊が原因だ。環境保護には目も向けず、自国中心、自己保身ばかり。今こそ、世界が連帯し、人間の社会と自然環境を守り、美しい地球を子ども達に残す責任が私達にある。



4	火	巡回相談
5	水	読み聞かせ(5歳児) 給食費引き落とし日(3歳児以上)
11	火	交通安全教室(5歳児)
13	木	希望保育日
14	金	希望保育日
15	土	希望保育日(土曜保育利用者のみ)
21	金	よるまでお楽しみ会(5歳児)
24	月	4歳児視覚検査(13:00~)
27	木	誕生会
28	金	避難訓練

「夏祭り」

・保護者会主催の夏祭りが中止となりましたが、保護者会役員の方々からお土産やスパーボールの準備をして頂き、子ども達もとても喜んでいました。また、ぞうグルーブの和太鼓、盆踊り披露の場でも、保護者の方1名での参加や、参加の仕方などへもご協力頂きありがとうございました。例年と異なる状況の中、子ども達の真剣な表情に感動しました。週明けにはきりんグループの子ども達が憧れの和太鼓に触れ嬉しそうにリズムを刻んでいました。

昨年とは異なる経験の中でも、子ども達が楽しんでる様子を見て子ども達から教わり、感動することも多々ありました。本当にありがとうございました。

今後の行事も、今の社会状況の中で子ども達と出来ることは何かを考えて行きます。どうぞご協力の程よろしくお願いします。

今月の子どもの中から...



- **読み聞かせ (5日)**
今年度初めての絵本の読み聞かせです。午睡をしない5歳児を対象に、指導員の宮本先生と栗山先生が絵本や紙芝居を読んでもらいます。子ども達もとても楽しみにしています。どんなお話でしょう!
- **交通安全教室 (11日)**
今年も5歳児のみの参加です。防犯について、学びます。ご家庭でも、出掛ける時などは手を離さない、知らない人にはついていけない等、約束事を話してみてくださいね。
- **5歳児「よるまでお楽しみ会」(21日)**
今年「よるまでお泊まり保育」ではなく、「よるまでお楽しみ会」を実施します。スイカ割りや飯盒炊飯、キャンドルサービスや花火も計画しています。

ぞうグループの保護者の方へは詳細を後日お知らせしますね。

● 4歳児視覚検査 (24日) 13時

・市役所保健センターの方と茨城メディカルセンターの方が見え、4歳児が視力検査を受けます。当日は必ず出席して下さい。(目の異常を早期発見する機会になります。)

● 誕生会 (27日)

・今年もクラスで誕生児をお祝いして、2クラス毎に大型紙芝居を観て楽しめます。特別な1日になりますように。

★お願い・☆お知らせ



★晴れた日は、色水遊びや泥あそび、泡遊びなどを行います。時には泥や絵の具がつくこともありますので、保育園には汚れても構わない服装で登園して下さい。洗濯も大変かと思いますが、沢山遊んだ証拠と大目に見て下さい。

☆希望保育 (13日・14日・15日) は利用希望を出された方のみの利用となります。詳細は先日利用希望の方へお渡しした手紙を確認して下さい。

☆非常勤職員の東郷友香理さんが先月で退職し、竹脇真由美さんが新たに勤務しています。どうぞ宜しくお願いします。

「子どもと過ごす時間」

この時期は、お仕事がお休みの日もある事と思います。お子さんの時間を過ごすときに「どこに出かけようか?」「何をしようか?」「どう過ごすか?」と考え、悩むこともありますね。我が家でも子ども達が小さい頃、「さあ、今度どこに行こうか?」と動物園や遊園地等レジャーの計画を立て一生懸命連れて出掛けたりしました。しかし、子ども達が少し大きくなったある時、「小さい時〇〇に行ったね。覚えている?」と聞

くと案外覚えていなくて(残念)、どんなことを覚えていたかというと、毎日のように庭で遊んでいたプール遊びと水着のまま食べたおにぎりの美味しかったことや、夜の12時と朝5時頃に父のバイクに乗り(本当は駄目?)カブト虫を採りに行ったこと等でした。「えっ、なんだそんなこと?」って思ったことを思い出します。子ども達にとって大切な時間は、大人が考えるよりも、日常の何気ない事にあるようです。ことわざに「這えば立て立てば歩めの親心」というものがありますが、親は子どもの成長が楽しみで、ついつい早く成長して欲しいと思いがちですが、お子さんを授かった日のあの喜び、産まれるまでの不安、産まれてきてくれたことに感謝したあの時をもう一度思い出してみよう。

親の手の届く範囲に子どもがいる時期はほんの5、6年位です。保育園にいる期間の今がお子さんに向かい合い一緒に過ごす大切な時間です。お家の方と一緒に食べる・遊ぶ・寝るなど、共有時間を過ごす事が子ども達の根っここの栄養分になります。共働きの中で子育てをすることは本当に大変で、父、祖父母など周りのサポートは必須です。自分の時間はお子さんが寝た時間しかないと思えますが、今はお子さんの時間を優先できると良いですね。

お子さんと過ごす時間が多くなると、お子さんの体調や心の様子が少しずつ分かるようになります。体温や食事量、排便などで体調管理はAIでも出来ませんが、声のトーンや顔の表情、遊びの様子など「いつもと違う」ことに気付けるのはお家の方しかいません。どうかお子さんの時間を大切にして下さい。

園長 浅沼玲子

